

令和6年度 包括的な支援体制の構築・整備に向けたモデル事業 実績報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	小田原市 社会福祉協議会	
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける	○	(1)行政および地域の関係機関・団体、担い手との協働による包括的支援体制構築の促進
		(2)個別支援と地域支援の一体的推進、および「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を意識した具体的実践の促進
		(3)その他、包括的支援体制の構築に関わる取り組み
事業名	であ・つな交流会(「であって・つながる交流会」)	
事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕 ※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入して下さい。 ※各市町村社協ホームページ等にて本事業の掲載等を行う場合は、URL を記載して下さい。 本市第4期地域福祉活動計画は、実施3年目の中間年を迎えた中、各種関係団体等へ現状の課題等を把握するためヒアリング調査を実施しました。その中では地域から「楽しく活動することの重要性」「いろいろな垣根を超えた話し合いの機会が必要」「活動が継続できている団体の取組状況を知りたい」「情報交換を希望」「地域包括支援センターとの連携強化が必要」などが課題として上がり、一方で社会福祉法人や福祉施設、事業所からは「施設資源を使って交流の場を支援したい」「コロナで途絶えた地域とのつながりの復活」「地域が施設に対して求めていることを知りたい」「地域との交流を望む」といった地域とのつながりを求める意見等があったことを踏まえ、であってつながる『であ・つな交流会』を開催したものです。 この交流会が、地域活動の担い手と、社会福祉法人など関係団体が、ともに持続可能な地域活動に向けての夢や想いを語り合う場となり、包括的な支援体制の構築につながる取組みができたものと認識しています。 当日は、地区社協の構成メンバーをはじめとする地域の活動者、市内社会福祉法人、地域包括支援センター、市地域事業所連絡会、行政職員等60名程が出席。 ヒアリング調査結果の報告、地域活動団体および福祉関係者の夢発表、ワールドカフェを開催しました。 夢発表は、インタビュー形式で行ったほか、ワールドカフェでは、8グループに分け「地域活動継続のための工夫・メンバーの増やし方(地域活動者)」「地域活動継続に向けた支援(福祉関係者)」の2つのテーマについての情報交換のほか、全参加者共通テーマ「地域で『できたらいいな』の夢」について、付箋に記入していただき交流しながら共有することができました。		